

# 各国森林・環境概況

各国の森林・環境・文化

日時：平成26年8月24日（日） 10:00～15:00

講師：田中 隆文（あいち海上の森大学コーディネーター）

## 概況



受講者の環境活動紹介や、各国の環境課題・取組に対する考えを発表。

### ○U氏

あいち海上の森大学、同窓会、あいち自然ネット、地域コミュニティー、大学等の地域連携に発展してきた体験的環境教育について、地域社会の貢献と責任の重要性などについて発表された。

### ○K1氏

犬山市東部丘陵の八曾自然休養林の「ふれあいの森」における整備や、巨樹古木調査グループでの犬山市内の巨樹調査、木エグループでの工作指導、観察会等における活動について発表された。

### ○K2氏

ヨーロッパアルプスについて、崖に張り付いて樹木が生育している様子や、森や植物の様子、アルプ（放牧されてる草原）の様子など、写真とともに発表された。

### ○S氏

豊田市自然観察の森におけるインタープリターの活動として、森の案内、自然の仕組みなどの解説などを行うこと、子どもたちへの説明の仕方、教育の大切さなどについて発表された。

○T氏

山の区分や管理などについて、「杣山」と「里山」の違いや、維持管理の仕方、間伐の目的、山などは10個に区分されることなど、様々な事柄について発表された。

○N氏

あいちトリエンナーレ2013でのペロタクシードライバーの経験や、「中庸」が大切であること、里山において交通弱者が出ていることや、リニア中央新幹線建設の懸念などについて発表された。

○M氏

自然観察指導員としての活動や、名古屋市名東区民展・東邦ガスエネルギー館・明德公園地域展における昆虫展の開催、散策会・自然観察会における活動、猿投山における問題点等について発表された。

●海外事例

○A氏

ブラジルは水力発電がほとんどであるが、建設のため広大な土地を開発していることや、公共交通機関の未発達により車が多く、平日はナンバーの数字によって交通規制を行っていることなどが発表された。

○K3氏

日本と中国で使われている漢字の意味は2国間で異なっていることや、中国では正月が旧正月であること、経済発展に伴う車の増加、ナンバーによって交通規制していることなどが発表された。

●総括: 田中隆文先生

様々な図形や地球と太陽の関係を例に、

- ①見る向きによって変わる
- ②立場によって受け止め方がちがう
- ③イメージで判断すると、「個性」が見えない

これらが重要であるとされ、ESDにつながること、「びっくりした」ことの共有の大切さについて説明され、総括された。